

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12236

博物館施設維持管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
中事業	博物館施設維持管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 博物館 前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	博物館の運営・維持管理を円滑に行う。		博物館法に基づき、博物館の運営・維持管理を行う事業。博物館基本計画に基づいた計画を実行(リニューアル等)する必要がある。			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館のリニューアル等の施策に取り組む。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	32,581	49,297	30,359	33,868	39,269	35,102	36,430	0	36,430	0	
伸び率(%)	△3.3%	15.2%	△6.8%	△31.3%	29.3%	3.6%	△7.2%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	6,516	4,965	6,618	6,462	8,015	8,015	6,522	0	6,522	0
	正規職員以外	5,091	5,137	4,835	4,447	4,483	4,483	4,483	0	4,483	0
	小計	11,607	10,102	11,453	10,909	12,498	12,498	11,005	0	11,005	0
国庫支出金	0	2,801	0	0	0	1,090	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1,159	1,077	1,343	1,469	1,798	1,701	2,407	0	2,407	0	
一般財源(税等)	31,422	45,419	29,016	32,399	37,471	32,311	34,023	0	34,023	0	
所要人数(人)	正規職員	0.84	0.64	0.85	0.83	1.02	1.02	0.83	0.00	0.83	0.00
	正規職員以外	2.00	2.13	2.09	1.81	1.81	1.81	1.81	0.00	1.81	0.00
主な予算内訳	管理委託料20,071千円 光熱水費13,872千円 展示その他委託料1,577千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
施設の修繕箇所数	箇所	目標値		4	4	4	4	
		実績値		6	4	7		
		達成度(%)		150%	100%	175%	%	%
入館者数	人	目標値		18000	18000	18000	18000	
		実績値		7569	9099	10589		
		達成度(%)		42.1%	50.1%	58.8%	%	%
成果指標		目標値						
		実績値						
		達成度(%)						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	博物館の施設及び設備について、老朽化による劣化が進んでいる。計画的に対処していく。 また、歴史・文化を継承するとともに、親しまれる博物館にするため、また賑わい増加を図るため、博物館基本計画に基づき、リニューアルの実施などの取組を行っていく。
見直し・改善内容	老朽化対策と魅力的な博物館づくりを目的として、リニューアルの方向性や内容を検討し、リニューアルを推進していく必要がある。